

報道関係各位

平成21年10月8日

森ビル株式会社

森 稔、初の書き下ろし本「ヒルズ 挑戦する都市」発刊

森ビル株式会社（東京都港区）代表取締役社長 森稔は、森ビル設立50年に当たる本年、自ら書き下ろした初の著作を発刊します。

- ・本のタイトル：「ヒルズ 挑戦する都市」
- ・新書判：298 ページ
- ・出版社：朝日新聞出版株式会社
- ・発売日：10月13日
- ・著 者：森 稔（森ビル代表取締役社長）
- ・価 格：820円＋税

目次

- ・カラー口絵8ページ
- ・プロローグ ハーバードビジネススクールで
- ・第1章 ヒルズスタイル
- ・第2章 共同建築
- ・第3章 アークヒルズ再開発
- ・第4章 六本木ヒルズ再開発
- ・第5章 上海ワールドフィナンシャルセンター
- ・第6章 進化するヒルズ
- ・エピローグ



本文 ～はじめに～ より抜粋

われわれのプロジェクトは、ひとつ仕上げるのに十数年かかっています。

私は、あといくつ実現できるかわからない。けれども、都市の主役であるみなさんが都市を変えようと望み、都市は変えられると信じれば、都市はもっともっと早く変わります。

とくに若い世代にもっと都市に興味を持ってほしい。高齢な方も、もっと都市について発言してほしい。なぜならば、これからどのように暮らし、どのように働き、どのように家族と共に憩うことを望むのか、それを具現化する基盤が都市だからです。

そう、都市を変えるエンジンは多くの人の「想い」なのです。

本書の内容

本書は、2008年の米国ハーバード・ビジネススクールの授業風景から始まります。

六本木ヒルズを題材に学生たちと語り合うなかで、森は「結局、私はいままで既成概念に挑戦してきたように思う」と語っています。

この「既成概念への挑戦」が全体を貫く縦軸となり、1章では7年目を迎えた六本木ヒルズの姿とそこに秘めた意義や戦略が明かされ、2章以降、初期の共同建築からアークヒルズ再開発、六本木ヒルズ再開発、上海ワールドフィナンシャルセンターの開発秘話が綴られています。

小説家志望の学生が家業にのめり込み、合理的な貸しビルの形を必死で模索した創業期、民間としては国内最大級の大規模再開発“アークヒルズ”に挑んだ苦闘の日々、「世界」を強く意識し、世界とのコラボレーションでつくり上げた文化都心“六本木ヒルズ”、さらに初めてヒルズの思想が海を越えた“上海ワールドフィナンシャルセンター”への挑戦……。

「できるはずがない」と言われ、そのたびに「前例は自分たちでつくる」と奮い立ち、「未知の領域への挑戦こそ、森ビルのレゾナートルだ」と先頭にたって走り続ける森。そのなかで出逢った多くの人々とのさまざまなエピソードが横軸となって、『ヒルズ 挑戦する都市』を織り上げていきます。

6章「挑戦するヒルズ」では、これからの半世紀を展望し、持論である「垂直の庭園都市」について、地下空間の活用をはじめとするさまざまなアイデアや技術、再開発の仕組みを提案しながら、都市の未来像を描き出します。

そして最後に、森は「既成概念を覆すイノベーションは、新結合から生まれる」として、多くの人々に教えを求め、都市づくりへの参加を呼びかけています。

本書は、都市再生を信じ、再開発に挑み続ける一人の人間の目を通して描き出した「都市、人間、挑戦」の記録です。

【本件に関するお問合せ】

森ビル株式会社広報室 担当：安田、一木

TEL：03-6406-6606 FAX：03-6406-9306 E-mail：koho@mori.co.jp